

(A)IT理解	業務のIT化	IT化を推進するためのつながる業務への理解	モデル番号	習得段階	訓練時間
			A05	ステップ1	6時間

コースのねらい	生産活動をITを用いて効率化する上で必要な前提知識である「つながる」ことの重要性和情報とデータの間係を正しく理解する。
---------	---

「基本項目」	「主要内容」
つながる業務の重要性	<ul style="list-style-type: none"> ・つながる職場・工場 ・つながる仕事 ・つながる人 (ITにより場所や機器、仕事や人がつながることによる様々なメリットが生まれる) ・情報の連鎖
情報とデータの間係	<ul style="list-style-type: none"> ・データと意味をもったデータ(情報)の違い ・情報の目的とデータの本質 (必要な情報を得るためのデータが選別できる) ・データの種類と型

※使用機器・訓練実施に当たっての留意事項	
----------------------	--

(A)IT理解	業務のIT化	ムダを発見するための業務とデータの流の見える化	モデル番号	習得段階	訓練時間
			A07	ステップ2	6時間

コースのねらい	ITで用いられている技法を用いて、業務プロセスとデータの流を図示し、業務の無駄を発見し業務改善に活用できることを理解する。
---------	---

「基本項目」	「主要内容」
業務とデータの見える化とは	<ul style="list-style-type: none"> ・業務とデータの見える化の必要性 ・情報のムダについて ・見える化による業務改善事例
業務とデータの可視化技法	<ul style="list-style-type: none"> ・テーブルとデータの間係 ・業務を可視化する技法 DFD(データフローダイアグラム)、E-R図(実体関連モデル)、UML ・フロー図を使った演習

※使用機器・訓練実施に当たっての留意事項	
----------------------	--